



第17回 タップアワード表彰式



角濱さくら氏

●タイトル
観光地域におけるゴミ箱の設置問題とゴミ持ち帰り促進について



新井結菜氏

●タイトル
訪日外国人が旅行で不便を自力で解決するアプリケーション

選考委員長
久保成人口



選考委員一覧

- 久保成人口【選考委員長】
元観光庁長官/（一社）宿泊施設開発協会 副会長
- 原信造氏 タップユーザー会会長
(株)アーティック・ニューグラント代表取締役会長兼社長
- 鈴木昭久氏 (公社)日本観光振興協会 元副理事長
- 岡崎威生氏 瑞穂大学工学部工学科知能情報コース 教授
- 浅生亞也氏 衛サヴィーコレクティブ 代表取締役
- 永山泉水氏 岡山县 湯郷温泉 ゆのうご美春閣 女将
- 杉本一郎氏 横市通信社 取締役

第17回タップアワード総評

インバウンド観光客の急増に伴い、日本各地では訪日観光客も受け入れ側も様々な問題が発生しており、今 年2024年は、訪日外国人がおそらく3500万人から4000万人に達する見込みです。このような状況下で、今回アワードを受賞する高校生と大学生は、インバウンド観光における課題解決に向けて、本人なりに考案された独創的なアイデアを提案しました。彼らの若き視点と熱意は、観光業界の未来を担う人材として期待されます。

今後、このアワードを通じて、より多くの若者や日々色々なことで悩んでいる方の中で何かアイデアをお持ちの観光業界関係者が、インバウンド観光の課題解決に積極的に取り組むことを期待しております。

2024年度 タップユーザー会開催!!

(株)タップの2024年度「タップユーザー会」が昨年11月に帝国ホテル東京で開催された。コロナ明けの前回の出席者を上回る約600名が参集。加速する観光立国への道筋を見据えながら、PMSをプラットフォームにした様々な課題解決に挑戦し続けていること、そして総合エンジニアリング会社として、ホテルDX、観光DXに貢献していくことを改めて表明した。



(株)タップ 代表取締役会長 林悦男氏



国土交通省 観光庁 審議官 鈴木貴典氏 タップユーザー会 会長 原信造氏



(株)タップ 代表取締役社長 吉田亮一氏

●主催者 林会長挨拶

17年前、観光業界への一般の方の参画を促すため創設したアワードですが、今年の受賞者2人の若さと斬新なアイデアには驚きました。情報化社会の発展が若年層のデジタル活用能力を高め、ビジネスモデルへの応用を可能にしたことなどを実感します。特に、デジタル分析にとどまらず、新たなビジネスモデルを提案するレベルに達していることに感銘を受けました。この流れは、私たちが目指していた方向性を確信させるものであり、アワードを継続していく意義を改めて感じています。毎年、多くの応募の中から受賞者を決定する審査員の皆様には、心から感謝申し上げます。

PMSベンダー企業から総合エンジニアリング企業へ飛躍する(株)タップが恒例の「2024年タップユーザー会」を開催した。毎年新しいバージョンを掲げ、「歩ずつ確実にそれを実行し、実績を残してきている同社は、林悦男氏の構想を全スタッフが競って具現化する体制を構築しつつある。宿泊施設のPMSと宿泊客の端末を連携して顧客の利便性と施設の業務効率の向上を図る「マイホテル・マイオペレーション」や観光DXとして「エリアブランドアプリ」の開発、さらに「セルフとシェア」というコンセプトの旅前・旅中・旅後の流れをワンストップで完結させるシステム整備、また「エリアPMS」という地域全体で運営でき、観光の価値体験を向上させる仕組み作りにも実績を重ねてきている。

長年の構想でもあった、「タップホスピタリティラボ沖縄」も完成させ、多様な宿泊業界のDX化の実証施設として機能せつつある。その成果を具体的な施設に落とし込む事例も増やし、さらなるDX化掘り下げを進めている。㈱タップの技術力とホスピタリティマインドの進歩ぶりとその貢献度がこのユーザー会を通して適確に発信されていると言えるだろう。

総合エンジニアリング企業の「パー・パス経営」を前進